

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	議会広報活動事業			事業コード	0856
担当課等	所属名	議会事務局		担当係名	
	課長名	議会事務局 議会事務局	担当者名	鹿嶋大孝	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード 2
	基本事業	議会活動の支援	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 1款 1項 1目 議会広報活動事業(002-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和44年度～)					
事務事業の概要	市議会の活動を市民にお知らせするための広報紙の発行					
根拠法令等	もりおか市議会だより発行規程第2条による					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>盛岡市議会に関する諸事項を市民に周知し、市議会に対する市民の理解を深めるため、昭和45年1月に市議会だよりの発行を開始した。視覚障がい者のための点字市議会だよりは昭和57年1月に、音声テープによる声の市議会だよりは平成8年1月に発行を開始した。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>市民からは、全般に読みづらい、専門用語の解説を掲載してほしいとの声がある。中核市議会議長会が行う議会報コンクールにおいて審査員からは、子どもの表情を用いた表紙写真により柔らかいイメージが出ている、議決結果の一覧だけでは内容がわかりづらいなどの評価を受けた。議員からは、視覚障がい者にとって、より親切的な点字版の発行を求める意見があり、より一層の工夫に努めることとした。議会広報委員会における協議の中では、A4サイズのほうが保存しやすい、文字サイズが小さく読みづらい、カラー印刷の発行号があってもよいのではないか、経費増を避けつつ内容を魅力的にしたいが一般質問掲載スペースを削減することは難しい、などの意見が出されている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
市民や議会広報委員会等から多様な意見が出されていることから、引き続き議会広報活動の一層の充実が求められている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民の人数	単位	人
			B. 視覚障がい者数(18歳以上の1級・2級)	単位	人
			C. 世帯数	単位	世帯
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 発行回数	単位	回
			B. 市議会だより配布部数	単位	部
			C. 点字・声の市議会だより配布部数	単位	部
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 本会議傍聴者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
			B. 市議会ホームページへのアクセス数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	件
			C. 市議会だよりを読んでいる市民の割合 (まちづくり評価アンケート「いつも読んでいる」) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	円滑で効率的な運営ができた議会の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民の人数	人	297,592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	年度
対象 指標B	視覚障がい者数(18歳以上の1級・2級)	人	484	493	493	483	483	483	年度
対象 指標C	世帯数	世帯	124,563	125,590	125,590	125,149	125,149	125,149	年度
活動 指標A	発行回数	回	4	4	4	4	5	4	年度
活動 指標B	市議会だより配布部数	部	553,806	555,700	555,700	555,820	694,820	555,820	年度
活動 指標C	点字・声の市議会だより配布部数	部	384	332	332	364	460	364	年度
成果 指標A	本会議傍聴者数	人	383	374	374	532	550	570	年度
成果 指標B	市議会ホームページへのアクセス数	件	18,498	20,480	20,480	20,089	20,200	20,300	年度
成果 指標C	市議会だよりを読んでいる市民の割合 (まちづくり評価アンケート「いつも読んでいる」)	%	26.4	19.6	19.6	17.2	20.0	21.0	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	6,171	6,194	6,242	6,194	6,696	6,194	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	6,171	6,194	6,242	6,194	6,696	6,194	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	6,171	6,194	6,242	6,194	6,696	6,194	*****
	延べ業務時間数	時間	2,257	2,465	2,240	2,240	2,240	2,240	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	9,028	9,860	8,960	8,960	8,960	8,960	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	15,199	16,054	15,202	15,154	15,656	15,154	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:市議会だよりにより市議会の活動内容を市民に知らせることは、議会活動の重要な要素である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由:議会の設置は地方自治法により自治体に義務付けられており、その内容の周知は市民から信頼される行政となる上で必要である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:市民全体への周知のためには現状で妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:市議会に対する理解を深めてもらうという意図は、議会や市政への関心を高めることで議会活動を市民に身近なものにするという点で妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:掲載項目、掲載方法、レイアウトなどの改善は、市民に関心をもって読まれる市議会だよりとなることにつながる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:議会活動が市民へ周知されにくくなり、議会が行政への認識や関心の低下につながる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:広報もりおか発行事務事業、点字広報発行事業、声の広報もりおか事務事業、岩手県議会だより ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由:市議会の広報紙としての独自性維持や編集方法の違いなどの点から統合は困難である。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:事業費の大半は印刷製本費であり、ページ数の削減や2色刷りを単色刷りにすることは、情報量の低下や読みづらさにつながることから、削減が妥当とはいえない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:掲載する記事量が大幅に削減されれば原稿作成・校正に費やす時間の減により人件費は削減されるが、現状では削減できない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:市議会だよりは全戸配布であり、点字、声の市議会だよりは希望者に配布しており、受益機会は公平である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:市議会だより、点字・声の市議会だよりの内容は、住民に対する市政情報の提供であり、対価の負担を求めることはできない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 手に取ってもらえる読みやすい紙面とするため、掲載項目、掲載方法、レイアウトなどの改善案を検討し、紙面に反映させる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 平成22年度(No.173号から)に紙面の見直しを行ったことから、その検証を踏まえ、今後も議会広報委員会での協議・調整を行っていく。</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>見直しを行った市議会だよりの紙面構成等について、その効果等の検証を行いながら、議会ホームページを含めた議会広報の充実に向けて、継続して見直しを検討していく必要がある。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>議会広報の一層の充実に向けて、市議会だよりの紙面構成等の見直しの効果を検証しながら、あわせて議会ホームページの構成、内容の見直しについて、議会広報委員会において情報を提供しながら協議を継続する。</p>													